

環境学習みえ

2011年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／葛山 博次さん（イヌナシ自生地保護活動委員会） 2011 No.44

春

三重の天然記念物①

多度のイヌナシ自生地

こどもエコクラブ
センターニュース
・今月の企画展示
・講座のご案内ほか

三重の天然記念物①

多度のイヌナシ自生地

今年度の「環境学習みえ」では、三重県内で指定されている「天然記念物」を特集します。今回は、平成22年度に国指定天然記念物にも指定された桑名市の「多度のイヌナシ自生地」をご紹介します。



お話を伺った人

葛山 博次さん

- ・イヌナシ自生地保護活動委員会 委員長
- ・三重県生物多様性保全アドバイザー

平成4年3月、泉立四日市工業高等学校校長を定年退職。その後三重大学、松阪大学などの非常勤講師を経て、現在は三重県の植物相や樹生の調査・研究に取り組んでいます。また、子どもたちとの野外活動の指導などを行っています。

「イヌナシの生育地域一帯の環境を守りたい」というのが大きな願いです。

ここは多度川中流にある多度峡の南側、ため池であるみどりヶ池周辺に自生する、日本で最大級のイヌナシ群落です。
三重県内では「イヌナシ」と呼ばれていますが、標準和名は「マメナシ」で、野生のナシの仲間です。イヌナシは、「東海丘陵要素」とよばれる伊勢湾周辺を中心に生育する植物で、

イヌナシは、愛知・岐阜・三重の一部にだけ自生する植物の一種です。

天然記念物とは

貴重な自然で、学術上の価値の高い動物、植物、地質・鉱物などを、国や地方自治体が「文化財保護法」や条例で指定したものをいいます。

国指定天然記念物のうち、世界的または国家的に特に価値が高いものには、特別天然記念物とされるものがあります。

「天然記念物」三重県教育委員会 HP
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/bunkazai/about/tennen.htm>



イヌナシは果物のナシの原種で、バラ科ナシ属の落葉樹です。4月初旬には、小さくて可憐な白い花を咲かせます。

その個体数は現在、東海三県で450株強あるとされています。ゆるやかな谷湿地などに生育し、比較的明るい環境を好みます。

葛山さんが初めてイヌナシと出会ったのは、高校生の時でした。当時はたくさんさんの株が林立し、純林に近いイヌナシの群落を形成していました。イヌナシの花が咲く季節には、この地を訪れ、豊かな多度町の自然に魅せられて、植物への愛着が募ったといいます。

「希少なイヌナシを保護していくうえで、多度のイヌナシ自生地は重要な個体群です。」と葛山さん。

東海三県に分布するイヌナシの遺伝子構造を解析したところ、多度の個体群は県内各地の個体とは異った遺伝子組成をもち、愛知や岐阜のグループともちがうことが明らかになりました。谷部にあり、他との交雑がなかったのでしょうか。

同じ種類の植物の中でも、多様性（遺伝的多様性）を保っていくことが重要であり、多度のイヌナシ固有の遺伝子構造を、変わらないまま残していきたいという想いがあります。

イヌナシの保全活動

昭和30年頃のこの土地は、薪炭林として利用されており、日当たりもよく、イヌナシの生育に最適な環境でした。それがその後の生活環境の変化により、里山に生えていたコナラ・クヌギ・アカマツなどは薪炭材としての利用価値を失い、放置される状態となりました。

【保全活動前】自生地周辺の地面は草木が生い茂り、日当たりや風通しが悪く、他の樹木が覆いかぶさるようにしてイヌナシの成長を妨げている状況でした。

保全活動前



多度のイヌナシ自生地は、昭和31年に「県指定の天然記念物」になりましたが、絶滅の恐れが極めて高いとして、平成16年には、「三重県指定希少野生動物種」に指定されました。それを機に、地元の「多度自然育成の会」と市や県が協働して、本格的な保全活動が始まりました。

葛山さん「イヌナシを保護しなければという想いがありました。保全活動に立ち上がったのは、地権者を含め、地域の人や行政、たくさんの方の協力があったからです。」

【保全活動後】日照や通風をさえぎる草木を伐採し、自生地の富栄養化の原因となる倒木や落枝などを除去しました。

保全活動後





多度のイヌナシ自生地の面積は、約三千平方メートル。そこに45株が群生しています。
 「将来にわたって、このイヌナシ個体群を存続させるためには、遺伝子群の成り立ちからみて、常に最低100株以上の成木が健在であることが条件である。」と葛山さんはいいます。
 保全活動を開始して7年、今ではたくさんの実生が確認できるようになってきました。確認した実生には、踏まれないように目印をつけ、下草



地元で自然保護活動を展開している「NPO 法人多度自然育成の会」と地権者の加納さん、ボランティアの皆さんと連携して、毎年行われている「イヌナシの花を見る会」のようす。下草刈り作業の後、みんなでイヌナシのお花見を楽しみ、お弁当をいただきます。

を刈って、実生の成長を見守ります。
 保全に関わる人たちが「かけがえない価値」を共有し、地域の財産として、イヌナシを守っていくと頑張っています。
 葛山さん「生存競争に負けて枯れてしまう実生があるかもしれないが、自然にまかせ、残ったものを大切にしていこうという考え方です。」
 希少なイヌナシの「天然更新」を促し、今はまだ小さい実生が、立派な成木へと成長するのを期待しています。



【参考】 みんなでまもろう国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」桑名市教育委員会

地域の生態系を守る

イヌナシは虫媒花^{ちゅうびがいけ}といって、主に昆虫に花粉を運んでもらい、受粉をおこなう花です。自生地内の昆虫もイヌナシを取り巻く生態系の一部であり、昆虫が育つ環境でないといけません。

葛山さん「イヌナシだけを守るのではなくて、イヌナシが生育するこの地域の生態系を維持する努力が

必要です。」

具体的には、実や種や実生を持ち出したり、持ち込んだりしてはいけません。また、『指定地から半径1キロ以内でナシ属の植樹、栽培すること』や『当該天然記念物の集水域を汚したり、水脈を絶つこと』など、イヌナシの保存に悪い影響を及ぼさないように、みなさんにも協力を呼びかけています。

地域の生態系を守るといことは、「生物多様性」を維持することにつながります。「生物多様性」が保たれることによって、私たち人間は自然から多くの恵みを受けることができます。

イヌナシ自生地の生物たち。「モリアオガエルの卵塊」(上)。「オオミスゴケ」(左)。

葛山さんの想い

豊かな自然環境を守るために、まずは身近にある自然との関わり方を見つめ直してほしいという想いが葛山さんにはあります。

保全活動に参加する子どもたちが実生を見つけるとすぐ喜ぶというお話を葛山さんからお聞きしました。

見つけた実生に目印をつけ、自分の名前を書いておくそうです。1年後、どれだけ大きくなったかを見てやってくるそうです。将来に希少なイヌナシが引き継がれていく絆とすることでしょう。

葛山さん「今後は案内板や観察路を整備し、多くの人に観賞と保護を呼びかけたい。」

イヌナシの花が見頃を迎える4月初旬。1年で最も華やかなイヌナシを観察することができます。天然記念物「多度のイヌナシ自生地」を訪ねてみてはいかがでしょうか。

【参考】三重県指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地保護計画」
【写真提供】桑名市教育委員会



実生の生育状態を観察する葛山さん。実生の生育がどうなっていくか、今後も観察と育成を続けていきます。

主催：三重県環境学習情報センター

天然記念物イヌナシ観察会 ～自生地の保全について～

日時 4月16日(土) 10:00～13:00
(雨天時は室内でお話を聞きます)

集合 多度峡駐車場 10:00集合
講師 石神教親氏 (桑名市教育委員会事務局文化課)
募集人数 18歳以上の方 20名程度 ※先着順

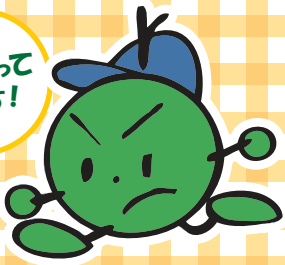
申込み・お問合せ 三重県環境学習情報センター

詳しくはHPで!

「多度のイヌナシ自生地」についてのお問合せ

桑名市教育委員会事務局文化課 TEL 0594-24-1361

がんばって
います!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

川島こどもエコクラブ (四日市市)

- ・会員数45名
- ・サポーター数18名
- ・クラブの構成 地域のクラブ
- ・代表サポーターの森さんに聞きました



いつものように
できたのですか？

川島こどもエコクラブは、いまから6年ほど前に、川島地区の中ほどを流れる鹿化川や周辺の里山を中心とした自然環境の保全活動やゴミ分別などの環境学習を推進しようという目的ではじめられました。

川島地区社会福祉協議会生活環境部がサポーターとなつて、私たちの身近な自然を大切にしたり、環境に関する活動を行っています。



どのような活動を
していますか？

平成22年度は、次のような活動に取り組みました。

◇2月21日 ポイ捨てゴミ回収クリーン大作戦

各自の自宅から川島地区市民センターまで、歩いて道路や水路、公園や空き地、川などに不法投棄された空き缶、空きビン、ペットボトル容器などのポイ捨てゴミを回収し分別しました。そのあとは環境啓発ビデオをみんなで見て生活環境の大切さを学びました。



写真①クリーン大作戦

◇3月20日 里山植物観察会

鹿化川沿いに歩き、川や田んぼのあぜ道に生える野草の勉強をしました。元中学校の生物の先生から植物に関する話を聞き、特に、食べることできる野草を勉強して、少し採集し、天ぷらにしてみました。

◇7月25日 鹿化川の水生生物調査

鹿化川の水質調査を行うため、水生生物による調査を行いました。毎年つづけている活動で、今回はⅡできれいな方から2



写真②水生生物調査

◇10月3日 野鳥観察会

鹿化川周辺の里山を飛び回る野鳥の観察を行い、野鳥の会の先生から、野鳥の食べるものとくちばしの関係について話を聞きました。

◇11月7日 環境ポスター展

川島小学校の4年生に環境に関するポスターを画いてもらい、川島地区文化祭において、来場された方に見ていただきました。



写真③環境ポスター展



どのようなことを
子どもに伝えたいですか？

自分たちが住んでいる川島地区が好きになり、そして、生活している環境を少しでもよくしたいという気持ちが増えてほしいと思います。

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生までも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基ついて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組めます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.ecoclub.go.jp>



かんきょう山柳 私たちのちょっとエコ入賞者発表!

大好評のうちに幕を閉じた、「かんきょう山柳」の募集！
三重県内から、1246名もの応募を頂き、本当にありがとございました。
どれも力作ばかりで、選考には大変苦労をしましたが、以下の様に決定しました。

小・中学生の部

最優秀賞

ゴミ分ける
私は流行りの
仕分け人

伊藤 菜美 (いなべ市立藤原中学校)

優秀賞

川よごす
米のとぎじる
すてないよ

岡本 望 (亀山市立井田川小学校)

入選

捨てないで
まだまだ使える
ミニ鉛筆!!

筒井 里奈 (多気町松阪市立松原小学校 組立多気中学校)

リビングに
集まる団らん
電気エコ

前川 紗奈 (津市立美里中学校)

高校・一般の部

最優秀賞

再生品
えらんでこそ
リサイクル

永井 あかね (伊賀市)

優秀賞

カバンには
財布には
エコバック

大矢 綾子 (四日市市)

入選

大そうじ
野菜くずで
窓みがき

則竹 智加子 (四日市市)

ティッシュより
布でぬぐう
その涙

林 佳奈 (三重県立明野高等学校)



三重県環境学習情報センターキャラクター「エコぞう」

※敬称略

環境活動の
PRができる!

今月の企画展示

2011年度 今月の企画展示
展示予定

- 4月 株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場
- 5月 募集中
- 6月 伊賀ふるさとギフトネットワーク
- 7月 第四管区海上保安本部
- 8月 桑名市教育委員会事務局文化課

以降...
出展者募集中!
センター/三浦まで



12月

四日市ウミガメ保存会



「四日市ウミガメ保存会」は2009年の1月より、四日市市市楠町の吉崎海岸で、毎月第1日曜日に清掃活動を続けてきました。それは、ウミガメの産卵ができる環境づくりのためです。

始めは参加者も少なかったけれど、今は平均60人を超えています。時には150人というときもあるほど。そんなメンバーが歓喜に沸いたのは、今年7月。ウミガメの産卵が確認されたのです! 新聞にも掲載されたように、9月には無事孵化しました。

明和町や紀宝町は毎年ウミガメの産卵があり有名ですが、四日市市では7年ぶりです。日頃の地道な活動に、ウミガメが答えてくれたのです。



ようこそ!&訪問しました

12~3月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習の受け入れを行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校

環境学習情報センターが訪問した小・中学校

四日市 楠小学校(5年)

松阪 松尾小学校(1~6年)

環境学習情報センターの講座情報 講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合 地域NPOの場合 自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。 メンバーのレベルアップにご利用ください。 市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

平成23年度 講座・イベント予定

講座・イベント名	開催時期	講座・イベント名	開催時期
スキルアップ講座「天然記念物イヌナシ観察会」	4月16日	PLT指導者養成セミナー	7月31日、8月21日 9月11日
スキルアップ講座「生物多様性の考え方」	4月23日、5月14日		
スキルアップ講座「利己的な遺伝子」	9月17日、12月10日 2月4日	環境工房	5月、9月、12月
		環境学習リーダー養成講座	12月以降
インタープリター養成講座	5月15日、21日、28日 6月5日	自然観察指導員講習会	9月23日、24日、25日
		星空案内人養成講座	11月頃
環境基礎講座（全6日間）	6月4日、11日、18日 7月9日、16日、30日	野鳥観察会～春編～	5月22日
		春のキッズエコフェア	4月30日、5月1日
ヒノマイトトンボ観察会	7月2日	Mie子どもエコフェア	7月23日、24日
ヒノマイトトンボに関する環境セミナー	5月13日、9月16日	夏休み子ども環境講座	8月に7～10回
プロジェクト・ワイルド エducator養成講習会	秋以降	子ども環境講座	年3回

講座予定

展示ホールが リニューアルオープンしました!



3月1日、展示ホールがリニューアルいたしました!

「地球温暖化」、「森林」、「水環境」、「ごみ」、「生物多様性」の5つのテーマにわかれています。それぞれ「地球とわたしのつながり」について、触れて学ぶ展示スペースになっています。

どなたでもご自由に見学していただけます。また、小学校の社会見学など、団体での利用申込みもお待ちしております。

このほか三重県環境学習情報センターでは、各種環境講座のお申込みを受付しております。センターでの開催、各地に出前での開催が可能です。こちらもお気軽にお問合せ下さい。

リニューアルオープン

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

三重県 環境 学習

検索

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
開館日	1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい

